

七十八歳の父親のことで質問します。昨年十月に肺がんと診断されて、手術を受けました。手術時には転移も見られず、手術後の経過は良好でした。高齢でもあり、抗がん剤による治療は見送り、定期検査のみを受ける状況でした。しかし、一週間ほど前から頭痛を訴えるようになりまして。話し言葉がはつきりしない、はしがうまく使えないなどの症状もあり、近くの病院でCTを撮ったところ、頭に三個の腫瘍があると言われました。どうしたら良いでしょうか。

がんの脳転移

放射線治療効果に望み

(MRI)検査が必要で、また脳転移が見つかった場合には、脳以外の部位に転移していないかを確認する必要があります。そのためにはPET検査やRI検査、さらに体部CT検査な



鹿兒島大学脳神経外科講師 八代 一孝



問 言葉や手に障害が出たり、頭痛の症状が出ています。頭内に腫瘍ができた場合、腫瘍のできた位置により、さまざまな症状が出ます。腫瘍が大きかったり、まわりの脳の腫れが強かったりすると頭痛が出てきます。また運動野と言われる部分に腫瘍ができると、病変と反対側にまひが出ます。左前頭部には言語に関連する働きをする脳があるため、ここに腫瘍ができれば言葉の障害が出てきます。

問 転移性脳腫瘍について教えてください。

答 がんが早期発見された場合、どのような検査が必要ですか。

問 転移性脳腫瘍が見つかった場合、どのような検査が必要ですか。

答 まず脳に転移している腫瘍の個数と場所を正確に把握する必要があります。そのためには、造影剤を使った磁気共鳴画像装置(MRI)検査が必要で、また脳転移が見つかった場合には、脳以外の部位に転移していないかを確認する必要があります。そのためにはPET検査やRI検査、さらに体部CT検査などが必要になってくるでしょう。

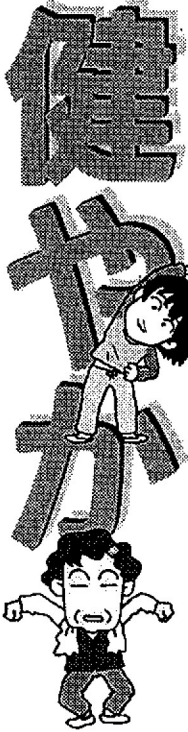
問 脳への転移と聞けば、もつたてはないように思いますが、何か治療法があるのでしょうか。

答 腫瘍の種類や場所にもよりますが、転移性脳腫瘍でも適切に治療すれば、数年間は有意義に生活される方もおられるので、あきらめるには早いと思います。

治療方針は腫瘍の大きさや個数、また脳以外の部位への転移の状況によって変わってきます。腫瘍が大きい場合には手術が必要になることが多いです。また、腫瘍の大きさが二・五センチ以下で、個数が少ない場合は、ガンマナイフなどを用いた定位放射線治療が有効です。腫瘍の個数が多いと、全脳照射と言われる脳全体に放射線を照射する方法が選択されます。

問 頭に三個の腫瘍があると聞きましたが、同時にできる病気は限られています。この場合、肺がんで手術された経緯があるので、肺がんが脳に転移した転移性脳腫瘍である可能性が最も高いようです。

暮らし 金曜日



いすれにしても、急いで治療する必要があり、また治療法も各人の全身状態などで変わりますので、主治医や脳神経外科専門医と十分相談してください。